

2021年3月26日

各位

株式会社 紀陽銀行

大阪芸術大学との産学連携プロジェクトの実施について

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、大阪芸術大学（学校法人塚本学院、所在地：大阪府南河内郡、理事長：塚本 邦彦）と産学連携プロジェクトを実施しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連携の経緯

当行は「銀行をこえる銀行」をめざし、銀行という枠にとらわれないさまざまな地域活性化事業に取り組んでいます。一方、大阪芸術大学は、建学の精神にもとづき、芸術における狭義の創造性にとどまらず、科学技術・産業・交通・通信・政治・行政・その他社会活動全般にわたり創造性を推奨し、柔軟に広義の創造性を発揮できる人材の育成に力を入れています。

今回、大阪芸術大学と学生のデザイン力やアイデアを地域活性化に活かす産学連携プロジェクトを実施し、デザイン学科の授業内課題として、地域情報を発信する地域情報誌のデザインを学生から募集し、優秀作品6作品を決定しました。

2. 概要

連携学科	デザイン学科・グラフィックデザインコース
プロジェクト名称	紀陽銀行×大阪芸術大学 地域情報誌のデザイン制作
プロジェクト期間	2020年10月～2021年3月
制作課題	① ロゴマークのデザイン 情報誌の名称「Localist」 ② 表紙・特集記事のデザイン テーマ「北山村のじゃばら」

※制作課題および制作に係る素材は、当行の働きかけにより、株式会社ロカリスト（所在地：和歌山県和歌山市、代表取締役：稲田貴一、以下「ロカリスト」）、株式会社じゃばらいず北山（所在地：和歌山県東牟婁郡、代表取締役：池上輝幸、以下「じゃばらいず北山」）および北山村役場の協力により、提供されました。

3. 今後について

本プロジェクトを通じて学生が制作したデザインは、当行とロカリストの「地方創生に関する包括連携協定」にもとづき、ロカリストが展開する地域活性化事業等において活用される予定です。

4. デザイン6作品

<ロゴマーク部門>



<表紙・特集記事部門>



<表彰式の様子>

2021年3月24日、大阪芸術大学にて表彰式をおこないました。紀陽銀行賞を受賞した2名には、賞金と協力企業（ロカリストとじゃばらいず北山）から和歌山の特産品が贈呈されました。



以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール4「質の高い教育をみんなに」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

